

平成26年8月18日
中部地方整備局

お知らせ

『名古屋港の水質を体験しよう!』を行います ～なごや環境大学 共有講座「伊勢湾の水環境について考えよう」第3回～

1. 概要 :

伊勢湾再生海域検討会 環境活動実行委員会(※ 別紙参照)では、8月22日なごや環境大学 共有講座「伊勢湾の水環境について考えよう」の3回目の講座として、環境に関心のある10名程度の参加者(東海三県在住の小学生とその保護者及び高校生)が船に乗って名古屋港の水質調査を体験し、名古屋港の水質の現状について学びます。

注:参加者の募集は、すでに終了しています。

表 なごや環境大学 共有講座「伊勢湾の水環境について考えよう」スケジュール

回	日程	タイトル	会場
1	6月29日	干潟と干潟の生き物体感!	藤前干潟活動センター(終了)
2	7月29日	三河湾の生き物体験!	蒲郡市竹島周辺(終了)
3	8月22日	名古屋港の水質を体験しよう!	国土交通省中部地方整備局 名古屋港湾事務所
4	9月下旬	伊勢湾の漁業を知ろう!	未定

(講座概要)

一般市民を対象にして、天然干潟での生物観察(1回目:藤前干潟、2回目:蒲郡市竹島周辺)や漁業体験(4回目)などを通じて海を身近に感じていただくこと、また、水質調査を体験(3回目)することで水環境の現状を知っていただくこと等を通して、伊勢湾(三河湾)の環境改善に向けて、市民一人一人が出来ることについて考えていきます。

2. 日時・場所 : 平成26年8月22日(金) 9:30~12:30

名古屋市港区築地町2番地 国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

※ 同事務所岸壁周辺での水の採取体験後、採取した水を用いて、室内で分析・考察を行います(11:10~12:30頃)。

3. 配付先 : 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先 : 伊勢湾再生海域検討会 環境活動実行委員会 国土交通省中部地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐 渡邊 TEL:052-209-6329



伊勢湾再生海域検討会

平成19年3月に策定された「伊勢湾再生行動計画」における海域での施策を検討するため設置された組織で学識経験者、専門家、市民・NPOなどにより構成されています。平成20年3月には、「伊勢湾再生海域推進プログラム」を策定し、以下のシナリオに基づいた取り組みを実施しています。

1. 貧酸素水塊の抑制と生物資源量の回復
2. 地産地消運動
3. ごみの少ない海の再生
4. 環境学習の実施
5. 人と海の結びつきを強化するための広報・PR

環境活動実行委員会

上記シナリオのうち、4. 環境学習の実施について、なごや環境大学 共育講座を活用した環境活動をおこなうため設置され、平成26年度には「伊勢湾の水環境について考えよう」を開設し、同共育講座の企画運営にあたっています。

平成26年度 2回目（7月29日）の講座状況



形原（人工干潟）での説明



導入講座の実施（生命の海科学館）



蒲郡市竹島周辺での生き物観察の様子